

授業科目	精神看護学演習	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	2年次後期	1	講義	30時間
到達目標	1. 精神看護に必要な看護技術の方法を理解する。 2. 自己洞察することの必要性が理解できる。 3. 精神障害を持った対象の看護過程の展開方法を理解する。					講師
						専任教員
授業計画						
1回	看護過程の（アセスメントのポイント）					
2回	看護過程（アセスメントポイント）					
3回	精神看護に必要なコミュニケーション					
4回	看護過程 アセスメント グループワーク					
5回	看護過程 アセスメント グループワーク					
6回	看護過程 関連図、目標設定、看護計画、評価					
7回	看護計画立案 ビジョンゴールシートを活用したグループワーク					
8回	精神看護に必要なコミュニケーション					
9回	プロセスレコード 意義と記入方法 ロールプレイについて					
10回	ロールプレイ 事例患者への対応					
11回	ロールプレイ 事例患者への対応					
12回	ロールプレイ振り返り グループワーク プロセスレコード					
13回	看護計画発表 看護計画立案のための学習内容、計画立案の発表					
14回	SST について					
15回	SST の訓練モデルに沿ったコミュニケーションの実際					
評価方法	筆記試験（60%）、レポート（15%）、レポート（15%）、ポートフォリオ（10%）を総合して評価する					
教科書	系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 精神看護学Ⅰ 精神保健学 ニューヴェルヒロカワ 精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学 ニューヴェルヒロカワ					
参考書						
備考	予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においてはテキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。					